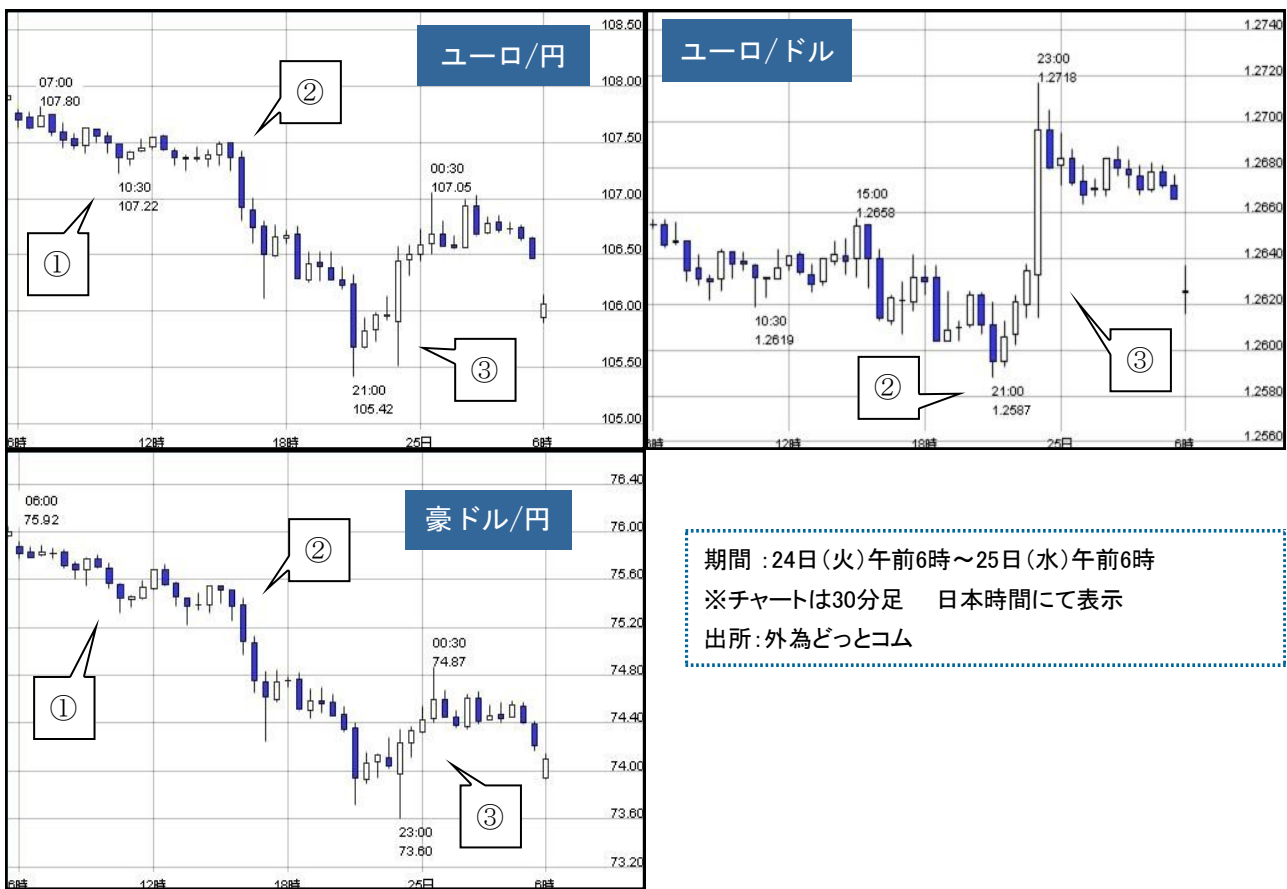


8月25日(水曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

円高・株安進行に伴い下落

24日(火)の主な推移



期間：24日(火)午前6時～25日(水)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 日経平均株価が一時9000円の大台を割り込み、2009年5月以来の安値水準となったことに加え、上海株式市場や時間外のNYダウ平均先物が下落したことも加わり、リスクに対して消極的となる動きから、ユーロ/円は107.22円まで下落し、豪ドル/円も弱含む展開となった。
- ② 野田財務相が17時直前に行った記者会見では、「為替介入についてはコメントしない」など円高に対する具体策が示されなかったことが市場の失望を誘い、円高が一段と進行。ドル/円が1995年6月以来の円高水準となる83円台に突入すると、21時過ぎにユーロ/円は2001年6月以来となる105.42円まで、豪ドル/円も73.71円まで、それぞれ下落した。またユーロ/ドルも欧州での株安やユーロ/円の下げに伴い、7月13日以来となる1.2587ドルまで下げた。
- ③ 米7月中古住宅販売件数の大幅な悪化を受け、ドル/円が83.58円まで下落したことに伴い、ユーロ/円は105.52円、豪ドル/円は7月7日以来となる73.60円までそれぞれ下落した。一方でユーロ/ドルは1.2718ドルまで上昇するなど、市場ではドルはユーロや豪ドルに対して売られたことにより、その後ユーロ/円は107.05円、豪ドル/円も74.87円まで反発した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2550-1.2750ドル
ユーロ/円: 106.30-108.50円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 72.70-75.00円

本日早朝に格付け会社S&Pがアイルランドを「A-」へと格下げしユーロが売られた。このことから、依然として欧州のソブリンリスクに対する市場の不安は払しょくされておらず、欧州の景気減速懸念と共にユーロの下落要因となっている。仮に市場の関心が再びユーロ圏に向かう場合には注意したい。

本日は独8月IFO景況指数の発表が予定されており、予想では2007年7月以来の高水準となった前回より下落することが見込まれている。もし市場予想より悪化した場合は欧州での景気停滞が想起されユーロが売られることが予想され、一方で前回を上回る場合には買われる場面もありそうだ。(川畑)

本日も円高懸念が消えない中、日銀の金融緩和期待により辛うじて円高進行が止められており、豪ドル/円も下げ渋る展開となっている。円高・株安が進行する中、市場では政府や日銀に対し、機動的な対応が求められている。もし金融緩和の拡大など市場の期待に応える政策が打ち出された場合、円安の進行により豪ドル/円は上昇が見込まれる半面、市場の失望を誘う場合には一段安もありえる。

また米欧の景気減速も懸念されており、総じて市場ではリスクを回避する姿勢が強いことから、豪ドル/円が積極的に買われる可能性は低く、上値は限定的となりそうである。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/25(水)	17:00	○	(独) 8月IFO景況指数	106.2	105.7
	21:30	○	(米) 7月耐久財受注 [前月比]	-1.0%	+3.0%
	21:30	○	(米) 7月耐久財受注 [前月比: 除輸送用機器]	-0.6%	+0.5%
	23:00	○	(米) 7月新築住宅販売件数	33.0 万件	33.0 万件
	26:00	○	(米) 5年債入札 (360億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com